

## 1 議事日程（初日）

〔平成30年太宰府市議会第3回（9月）定例会〕

平成30年8月29日

午前10時開議

於 議 事 室

- |       |   |
|-------|---|
| 日程第1  | 会議録署名議員の指名  |
| 日程第2  | 会期の決定   |
| 日程第3  | 諸般の報告   |
| 日程第4  | 議案第61号 専決処分の承認を求めることについて（平成30年度太宰府市一般会計補正予算（専決第1号）） |
| 日程第5  | 議案第62号 太宰府市立共同利用施設条例の一部を改正する条例について                  |
| 日程第6  | 議案第63号 太宰府市いきいき情報センター条例の一部を改正する条例について               |
| 日程第7  | 議案第64号 太宰府市介護保険条例の一部を改正する条例について                     |
| 日程第8  | 議案第65号 平成30年度太宰府市一般会計補正予算（第4号）について                  |
| 日程第9  | 議案第66号 平成30年度太宰府市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）について          |
| 日程第10 | 議案第67号 平成30年度太宰府市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）について            |
| 日程第11 | 議案第68号 平成30年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）について       |
| 日程第12 | 認定第1号 平成29年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について                    |
| 日程第13 | 認定第2号 平成29年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について            |
| 日程第14 | 認定第3号 平成29年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について             |
| 日程第15 | 認定第4号 平成29年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について              |
| 日程第16 | 認定第5号 平成29年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について         |
| 日程第17 | 認定第6号 平成29年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について              |
| 日程第18 | 認定第7号 平成29年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について             |
| 日程第19 | 報告第4号 平成29年度太宰府市健全化判断比率の報告について                      |
| 日程第20 | 報告第5号 平成29年度太宰府市水道事業会計資金不足比率の報告について                 |
| 日程第21 | 報告第6号 平成29年度太宰府市下水道事業会計資金不足比率の報告について                |
| 日程第22 | 報告第7号 太宰府市土地開発公社の経営状況報告について                         |
| 日程第23 | 報告第8号 公益財団法人太宰府市国際交流協会の経営状況報告について                   |
| 日程第24 | 報告第9号 公益財団法人太宰府市文化スポーツ振興財団の経営状況報告について               |

## 2 出席議員は次のとおりである（18名）

1番 柳原 莊一郎 議員  
3番 船越 隆之 議員  
5番 笠利 毅 議員  
7番 入江 寿 議員  
9番 陶山 良尚 議員  
11番 上 疆 議員  
13番 神武 綾 議員  
15番 藤井 雅之 議員  
17番 村山 弘行 議員

2番 宮原 伸一 議員  
4番 徳永 洋介 議員  
6番 堺 剛 議員  
8番 木村 彰人 議員  
10番 小畠 真由美 議員  
12番 原田 久美子 議員  
14番 長谷川 公成 議員  
16番 門田 直樹 議員  
18番 橋本 健 議員

3 欠席議員は次のとおりである

なし

4 会議録署名議員

7番 入江 寿 議員

8番 木村 彰人 議員

5 地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名（21名）

市長 楠田 大蔵  
教育長 樋田 京子  
市民生活部長 友田 浩  
都市整備部長 井浦 真須己  
観光経済部長 藤田 彰  
教育部理事 江口 尋信  
経営企画課長 高原 清  
環境課長 川谷 豊  
都市計画課長 木村 昌春  
上下水道課長 佐藤 政吾  
監査委員事務局長 福嶋 浩

副市長 清水 圭輔  
総務部長 石田 宏二  
総務部理事 原口 信行  
健康福祉部長兼  
福祉事務所長 濱本 泰裕  
教育部長 緒方 扶美  
総務課長併  
選管書記長 田中 縁  
管財課長 柴田 義則  
福祉課長 友添 浩一  
社会教育課長 中山 和彦  
観光推進課長兼  
国際・交流課長 木村 幸代志

6 職務のため議事室に出席した事務局職員の職氏名（5名）

議会事務局長 阿部 宏亮  
書記 芥藤 正弘  
書記 岡本 和大

議事課長 花田 善祐  
書記 高原 真理子

開会 午前10時00分

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長（橋本 健議員） 皆さん、おはようございます。

ただいまの出席議員数は18名です。

定足数に達しておりますので、平成30年太宰府市議会第3回定例会を開会します。

直ちに本日の会議を開きます。

議事日程はお手元に配付しているとおりです。

議事に入ります。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（橋本 健議員） 日程第1、「会議録署名議員の指名」を行います。

今回の会議録署名議員は、会議規則第87条の規定により、

7番、入江 寿議員

8番、木村彰人議員

を指名します。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第2 会期の決定

○議長（橋本 健議員） 日程第2、「会期の決定」を議題とします。

お諮りします。

本定例会の会期は、本日から9月21日までの24日間にしたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（橋本 健議員） 異議なしと認め、お諮りしたとおり決定しました。

なお、会期内日程については、お手元に配付しております会期内日程表によって運営を進めたいと思います。また、本会議、委員会とも改めて通知を差し上げませんので、よろしくご協力をお願いします。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第3 諸般の報告

○議長（橋本 健議員） 日程第3、「諸般の報告」を行います。

お手元に報告事項の一覧表を配付しております。監査関係、議長会関係及び行政視察関係の資料につきましては、事務局に保管しておりますので、必要な方はごらんいただきたいと思っております。

これで諸般の報告を終わります。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第4から日程第11まで一括上程

○議長（橋本 健議員） お諮りします。

日程第4、議案第61号「専決処分の承認を求めることについて（平成30年度太宰府市一般会計補正予算（専決第1号）」から日程第11、議案第68号「平成30年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）について」までを一括議題にしたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（橋本 健議員） 異議なしと認め、お諮りしたとおり一括議題とします。

提案理由の説明を求めます。

市長。

〔市長 楠田大蔵 登壇〕

○市長（楠田大蔵） 皆様、おはようございます。

本日ここに、平成30年第3回太宰府市議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様におかれましては大変ご多用の中にご参集をいただきまして、厚く御礼を申し上げます。

第3回定例会の開会に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

まず初めに、6月28日から7月8日ごろにかけての平成30年7月豪雨では、西日本各地で甚大なる被害が発生をいたしました。被害に遭われた皆様にご心よりお見舞いを申し上げますとともに、犠牲になられた方々にご遺族の皆様に対しまして、改めまして衷心より哀悼のまこととをささげます。

また、現在もなお被災者支援や災害復旧にご尽力をいただいております関係者の皆様へ、敬意と感謝の意を表します。

本市におきましても、特に7月5日午後から翌6日にかけての大雨に対し、土砂災害や浸水害の危険から、6日8時10分に災害対策本部を設置いたしました。まずは市民の皆様の安全を第一義に考え、同日9時に避難準備情報、10時15分に避難勧告を発令し、17時10分に数十年に一度の大雨が予想される大雨特別警報が本市に初めて発表されたことに伴い、直ちに避難指示を発令いたしました。日が暮れる前に避難をしていただくべきとの思いのもとでの苦渋の決断でありましたが、必要な判断であったと認識をいたしております。

結果としまして、避難所の体制など想定不足の点もありましたので、分析や反省を重ねまして、今後に向け万全を期してまいりたいと思っております。

今回の大雨により、本市でもご自宅の損壊を初め土石流の流入や崖崩れなどさまざまな被害が出ております。私自身、被害発生直後から現場に出向き、自分の目で見て、被災された皆様の声を聞き、でき得る限り迅速な対応を心がけてまいりました。

今後も一日も早い復旧に努めるとともに、地元自治会、消防、警察、自衛隊などの関係機関の皆様とも協力をし、あらゆる状況を想定したシミュレーションを行うなど、さらなる災害に強いまちづくりに向けて邁進してまいりたいと考えております。

早速9月1日には、防災の日に合わせて、筑紫野市と合同で恒例の太宰府市・筑紫野市合同総

合防災訓練を実施いたします。今年は本市のとびうめアリーナを会場に、警固断層を震源とする地震の発生により、本市内で多数の家屋倒壊や負傷者が発生したことを想定し、訓練を行います。

さて、1月の市長就任から7カ月が経過をいたしました。この間、日々決断を下しながら、まずは議員各位、そして市民の皆様、職員諸氏との真摯な対話をとの思いのもと、意見交換や全自治会夏祭りへの参加などを実践してまいりました。また、6月には全国市長会の上京機会を活用し、国とのパイプを強化するべく、国会議員、省庁訪問なども行ってまいりました。同月には、友好都市多賀城市も訪問をし、交流を深めるとともに、改めて東日本大震災復興支援への思いも強くしたところでもあります。

さらには、このたび全国史跡整備市町村協議会役員会におきまして副会長就任の承認をいただき、10月の全国大会で承認を受け、正式に就任する予定でございます。これを機に、再来年度に史跡指定100年を迎える本市にとって、全国の中でも特別史跡を数多く有するという特徴をいかにまちづくりに結びつけていくか、なお一層の検討を重ねてまいる所存でございます。

内部に目を向けますと、6月議会で三役体制も整いましたことから、いち早く三役会議の定例化、総合教育会議の開催、積極的な情報発信、広報戦略の強化、職員の新規採用説明会を初めとする人材育成の取り組み、歳入増に向けたふるさと納税サイト増加の着手など市政運営経費の見直しや、観光戦略、交通戦略策定の着手、福祉団体との意見交換などを実行しているところでもあります。

また、未来を担う児童・生徒の教育環境充実の観点から、中学校給食の検討、ノ一部活動デーや夏季の学校閉庁日設定、9月からのタイムカード導入など、学校における教職員の働き方改革、民間企業によるSTEM教育体験講座の受講推奨などにも取り組んでおります。

さらには、施政方針での7つのプランなどに従いながら、今後の政策実行過程の具体化や来年度予算での重点項目の選定も随時行っており、事業展開についても各所管に指示をし、具体化に向けて動いているところでもあります。

最後にもう一つ、うれしいニュースをご報告させていただきます。8月に行われました74回を重ねます福岡県市長会主催の市役所対抗野球大会におきまして、本市野球部が見事初優勝を飾りました。これからの市役所を担う若手職員が誇らしく優勝を報告する姿に、本市の明るい未来を確かに見ました。こうした仲間とともに、今後も市と市民の皆様の確かな未来に向け、私の持ち得る力を最大限発揮してまいりたいと思います。

本議会は、平成29年度決算について承認をいただく議会ともなっております。私どもは、議員の皆様から議決いただきました予算の適正な執行について、遺漏のないように最善を図っているところではありますが、今回の決算審査を通じまして、議員の皆様のさらなるご指導を賜りますようお願い申し上げます。

さて、本日まで提案申し上げます案件は、専決案件1件、条例の一部改正3件、補正予算4件、決算認定7件、各種報告案件6件、合わせて21件の議案のご審議をお願い申し上げます。

であります。

それでは早速、提案理由の説明を申し上げます。

議案第61号から議案第68号までを一括してご説明申し上げます。

最初に、議案第61号「専決処分の承認を求めることについて（平成30年度太宰府市一般会計補正予算（専決第1号）」）についてご説明を申し上げます。

今回の補正予算は、平成30年7月豪雨災害に伴う災害復旧関連に係る予算を、平成30年7月6日付で専決処分をさせていただいたものでございます。歳入歳出総額に歳入歳出それぞれ2億4,405万5,000円を追加し、予算総額を242億304万8,000円にお願いするものであります。

次に、議案第62号「太宰府市立共同利用施設条例の一部を改正する条例について」ご説明を申し上げます。

利用者の利便性向上のため、大佐野共同利用施設の名称を変更することに伴い、条例の一部を改正する必要性が生じたので、地方自治法第96条第1項第1号の規定により議会の議決を求めるものでございます。

次に、議案第63号「太宰府市いきいき情報センター条例の一部を改正する条例について」ご説明申し上げます。

利用者の利便性向上のため、太宰府市いきいき情報センター駐車場の利用時間を変更することに伴い、条例の一部を改正する必要性が生じたので、地方自治法第96条第1項第1号の規定により議会の議決を求めるものでございます。

次に、議案第64号「太宰府市介護保険条例の一部を改正する条例について」ご説明申し上げます。

今回の介護保険条例の改正につきましては、地域包括ケアシステムの構築を見据え、介護保険事業と地域包括支援センターの設置、運営を総合的に調査、審議する必要があるため、介護保険運営協議会と地域包括支援センター運営協議会を統合し、介護保険運営協議会として運営することに伴う改正となっております。

次に、議案第65号「平成30年度太宰府市一般会計補正予算（第4号）について」ご説明申し上げます。

今回の補正予算は、歳入歳出総額に歳入歳出それぞれ7億1,513万1,000円を追加し、予算総額を249億1,817万9,000円にお願いするものであります。

主な内容としましては、6月に発生しました大阪府北部地震によるブロック塀倒壊事故の関係から、市内公共施設のブロック塀などの総点検を行ったところ、補修が必要なことから、その費用を計上させていただくとともに、当初予定より増加傾向にある身体障がい者自立支援関係費などを計上させていただいております。

あわせて、市内農業用ポンプ施設の修繕費のほか、ため池改修に係る設計監理業務委託費及び工事費や、生活道路の修繕及び臨時工事費などを計上させていただいております。

また、学校関連といたしましては、ICT教育の充実を図ることを目的に、小・中学校への

電子黒板の設置費や、水城小、学業院中学校を初めとした小・中学校の施設整備構想案の策定業務委託費や、太宰府東中学校のトイレ改修設計業務委託費などを計上させていただいております。

なお、当初予算で計上しておりました市道五条・太宰府駅前線の道路改良事業の財源の一部として、歴史と文化の環境税基金の活用や歴史まちづくり関連事業につきまして、国庫補助でもあります社会資本整備総合交付金の採択を受け事業計画を見直した結果、それぞれの財源の組み替えをさせていただいております。

その他の内容としましては、平成29年度の各手当などの国庫負担金の額が確定したことに伴い、精算金や返還金を計上させていただくとともに、毎年続けていただいております日之出水道機器株式会社様などからの寄附に基づく図書購入費、普通交付税及びそれに伴う臨時財政対策債の額が確定したことによる歳入額の補正などを計上させていただいております。

また、平成29年度決算における剰余金を財源としまして、財政調整資金、公共施設整備基金、地域福祉基金への積み立てを計上させていただいております。

あわせまして、債務負担行為の追加を13件、繰越明許の追加を1件、地方債において限度額の変更を3件計上させていただいております。

次に、議案第66号「平成30年度太宰府市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）について」ご説明申し上げます。

今回の補正予算は、歳入及び歳出予算にそれぞれ1,107万3,000円を追加し、予算総額を72億6,303万8,000円にお願いするものであります。

歳出につきましては、平成30年度の国保運営の広域化に伴うシステム改修に要する費用及び昨年度交付されました退職者医療療養給付費交付金の超過交付分に係る償還金でございます。

財源となります歳入のうち、システム改修に要する費用につきましては、補助金として交付される保険給付費等交付金の特別交付金で、補助率は10分の10となる見込みとなっております。また、償還金につきましては、平成29年度事業に係る交付金の精算のため、法定外繰入金として一般会計繰入金からの繰り入れを行うこととしております。

その他、平成31年度からの健康診査等委託料に係る債務負担行為を1件計上しております。

次に、議案第67号「平成30年度太宰府市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）について」ご説明申し上げます。

今回の補正は、保険事業勘定の歳入歳出それぞれに1億803万円を追加し、予算総額を51億1,830万4,000円とするものです。

主な内容としましては、平成29年度の介護給付費及び地域支援事業費が確定したことによる国庫、県費支出金及び支払基金交付金の返還及び追加交付、並びに介護保険運営協議会と地域包括支援センター運営協議会の統合に伴う委員の報酬、費用弁償の補正計上となっております。

次に、議案第68号「平成30年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1

号) について」ご説明申し上げます。

今回の補正予算は、歳入歳出総額に歳入歳出それぞれ91万7,000円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ145万1,000円にお願いするものでございます。

これは、平成29年度決算におきまして約91万7,000円の剰余金が確定したため、住宅新築資金等公債償還積立金に積み立てを計上したものでございます。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○議長（橋本 健議員） 説明は終わりました。

お諮りします。

議案第61号は委員会付託を省略したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（橋本 健議員） 異議なしと認め、委員会付託を省略します。

直ちに質疑、討論、採決を行います。

議案第61号「専決処分の承認を求めることについて（平成30年度太宰府市一般会計補正予算（専決第1号））」について質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（橋本 健議員） これで質疑を終わります。

討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（橋本 健議員） これで討論を終わります。

採決を行います。

議案第61号を承認することに賛成の方は起立願います。

（全員起立）

○議長（橋本 健議員） 全員起立です。

よって、議案第61号は承認されました。

〈承認 賛成17名、反対0名 午前10時19分〉

○議長（橋本 健議員） 次に、議案第62号から議案第68号までについての質疑は、8月31日の本会議で行います。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第12から日程第18まで一括上程

○議長（橋本 健議員） お諮りします。

日程第12、認定第1号「平成29年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について」から日程第18、認定第7号「平成29年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について」までを一括議題にしたいと思います。これにご異議ありませんか。



(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(橋本 健議員) 異議なしと認め、お諮りしたとおり一括議題とします。

提案理由の説明を求めます。

市長。

[市長 楠田大蔵 登壇]

○市長(楠田大蔵) 認定第1号から認定第7号までを一括してご説明申し上げます。

最初に、認定第1号「平成29年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について」ご説明申し上げます。

平成29年度一般会計決算額は、歳入が240億7,563万7,155円、歳出が234億5,529万6,872円となりました。これを前年度と比較しますと、歳入は18億2,022万61円、7.0%の減、歳出は15億2,938万718円、6.1%の減となりました。歳入から歳出を差し引いた形式収支は6億2,034万283円、繰越明許費による翌年度に繰り越すべき財源2,759万8,518円を差し引いた実質収支は5億9,274万1,765円の黒字決算とすることができました。

平成29年度は、景気回復の影響もあり、前年度より個人市民税や固定資産税などの増収で市税全体で増額となり、あわせて地方消費税交付金を初めとする各交付金が増額しましたが、普通建設事業に対する国庫補助金の減少や総合体育館建設事業での地方債借入れがなくなったこともあり、歳入全体で比べると昨年度より減額となりました。

一方で、本市の確かな未来の創造に向け、事業の遂行に当たっては国、県の補助金あるいは市債を積極的に活用し、ふるさと納税の拡充も行うなど、あらゆる財源の確保に努めるとともに、経費の節減、事業の見直しなどを積極的に行い、限られた予算の中で各種施策、事業の計画的推進に努めてきたところでございます。

平成29年度は、保育所保育定員増や保育士処遇改善に伴い保育所保育委託料が増加したほか、サービス利用者の増加に伴う障がい児通所支援給付費、また道路改良事業に伴うシルバー人材センターの移転工事などの事業費が増加しましたが、総合体育館建設事業が完了した影響もあり、歳出全体で比べると昨年度より減額となりました。

今後とも徹底した行政改革と超成長戦略で財政再建を図り、本市をさらに飛躍させるよう、私が示した7つのプランを初めとする諸政策の具現化に向けて、職員一丸となって取り組んでまいり所存であります。どうか議員の皆様を初め市民各位のなお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

次に、認定第2号「平成29年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」ご説明申し上げます。

平成29年度は、歳入総額81億7,118万8,249円、歳出総額83億4,350万9,424円で、対前年度比では、歳入は7.5%、6億6,084万3,954円の減、歳出は7.9%、7億1,035万7,021円の減となっており、歳入歳出差し引き残額は1億7,232万1,175円の赤字決算となっております。本歳入不足額につきましては、平成29年度補正予算としまして、平成30年5月31日付で専決処分をさせ

ていただき、去る6月議会におきましてご報告をさせていただいております。

歳入は、国民健康保険税につきましては、対前年度比2.3%、3,512万6,908円の減、国庫支出金が対前年度比1.0%、1,710万6,735円の減、共同事業交付金が対前年度比2.7%、4,838万4,101円の減となった一方で、前期高齢者交付金が7.5%、1億5,117万2,227円の増となっております。

歳出は、歳出総額の58.3%を占めます保険給付費が対前年度比3.7%、1億8,396万1,598円の減、共同事業拠出金が対前年度比3.9%、7,495万1,371円の減、前年度繰上充用金が対前年度比68.3%、4億7,706万4,353円の減となっております。

平成30年度から国保制度改革に伴う福岡県との共同運営が始まり、市といたしましても、保険者として新制度における国保財政の安定化に向け、健全な運営に一層努めてまいり所存であります。

次に、認定第3号「平成29年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について」ご説明申し上げます。

平成29年度後期高齢者医療特別会計決算額は、歳入総額が12億948万8,301円、歳出総額が11億5,475万1,615円となりました。これを前年度と比較いたしますと、歳入は5,553万450円、4.8%の増、歳出は5,398万5,930円、4.9%の増となり、歳入から歳出を差し引いた収支は5,473万6,686円の黒字決算となっております。

次に、認定第4号「平成29年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」ご説明申し上げます。

平成29年度は、保険事業勘定の歳入総額48億8,939万8,360円、歳出総額47億8,986万8,998円で、前年度と比較しますと、歳入4.0%、歳出3.9%の増となっております。なお、歳入歳出差し引き残額は9,952万9,362円となっております。

歳出の主な内容としましては、保険給付費43億100万7,266円で、歳出総額の約90%を占めており、前年度より0.9%減となっております。

次に、介護サービス事業勘定の歳入総額3,878万6,442円、歳出総額2,023万6,168円で、歳入歳出差し引き残額は1,855万274円となっております。

本市では高齢化率が27%を超え、今後も介護給付費の増加が見込まれる中、介護給付の適正化を図り、健全な財政運営に今後も努めてまいります。

次に、認定第5号「平成29年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について」ご説明申し上げます。

平成29年度の住宅新築資金等貸付事業特別会計につきましては、歳入が1,747万3,266円、歳出が1,655万5,664円となっております。歳入歳出差し引き91万7,602円の繰り越しとなっております。対前年度比では、歳入で1,076万4,430円の減額、歳出では446万9,753円の増額となっております。

歳入が減額になりました主な理由は、県の償還推進助成金の減によるものでございます。ま

た、歳出が増額になりました主な理由は、積立金への繰り出しの増によるものです。

次に、認定第6号「平成29年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について」ご説明申し上げます。

まず、平成29年度末における給水人口は、前年度に比べ0.5%増の6万38人で、普及率は83.8%となっております。また、年間総給水量は561万8,703m<sup>3</sup>で、前年度に比べまして0.3%の増となっております。

次に、建設改良につきましては、総額で3億4,789万7,368円を投じ、配水管の新設及び布設がえ工事などを行いました。

次に、経理面であります。収益合計13億5,657万3,733円に対し、費用合計は11億1,387万6,388円で、差し引き2億4,269万7,345円の純利益が生じております。なお、剰余金の処分でございますが、1億6,334万2,365円を資本金に組み入れ、残り7,935万4,980円を建設改良積立金に積み立てる内容でご提案申し上げます。

資本的収支につきましては、収入総額1,987万1,480円に対し、支出総額は5億6,749万4,221円となっております。差し引き5億4,762万2,741円の不足額につきましては、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額並びに過年度分損益勘定留保資金で補填いたしております。

以上が平成29年度の水道事業会計における剰余金の処分及び決算の概要であります。

次に、認定第7号「平成29年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について」ご説明申し上げます。

まず、平成29年度末における水洗化人口は、前年度比0.2%増の6万9,531人で、水洗化人口普及率は97.0%となっております。また、年間有収水量は、前年度に比べ0.3%増の633万2,791m<sup>3</sup>となっております。

次に、建設改良でございますが、前年度からの繰り越しを含め、総額で3億4,002万3,603円を投じ、污水管及び雨水管の築造工事などを行いました。

次に、経理面であります。収益合計17億8,769万3,656円に対し、費用合計は13億6,538万7,459円で、差し引き4億2,230万6,197円の純利益が生じております。なお、剰余金の処分でございますが、2億6,976万558円を資本金に組み入れ、残り1億5,254万5,639円を減債積立金に積み立てる内容でご提案申し上げます。

次に、資本的収支につきましては、収入総額3億8,604万3,650円に対し、支出総額は12億4,296万6,818円で、8億5,692万3,168円の不足が生じたので、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、減債積立金、過年度分損益勘定留保資金及び当年度分損益勘定留保資金で補填しております。

以上が平成29年度の下水道事業会計における剰余金の処分及び決算の概要でございます。

よろしくご認定賜りますようお願い申し上げます。

○議長（橋本 健議員） 説明は終わりました。

お諮りします。

日程第12から日程第18までの平成29年度各会計決算認定につきましては、議員全員で構成する決算特別委員会を設置し、これに付託したいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(橋本 健議員) 異議なしと認め、お諮りしたとおりに決定いたしました。

お諮りします。

決算特別委員会の正副委員長を慣例により決定したいと思います。

決算特別委員会の委員長に総務文教常任委員会委員長の門田直樹議員、副委員長は各常任委員会副委員長の輪番制で、今回は建設経済常任委員会副委員長の上疆議員とすることに決定したいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(橋本 健議員) 異議なしと認め、お諮りしたとおりに決定しました。

ここで決算特別委員会の日程等について、委員長の説明を求めます。

決算特別委員長 門田直樹議員。

[16番 門田直樹議員 登壇]

○16番(門田直樹議員) 今回の決算特別委員会の委員長に私門田直樹、副委員長に上疆議員が選任されました。特別委員会が効率よく運営されるよう努めてまいりますので、議員各位のご協力をよろしくお願いいたします。

日程について説明いたします。

本日の本会議散会后、1日目の決算特別委員会を開催し、まず総務部長及び各所管部長からそれぞれの決算状況の概要説明を受けたいと思います。2日目からの決算特別委員会の日程につきましては、9月14日及び9月18日の午前10時から、決算書及び各資料をもとに具体的項目についての内容審査を行います。

なお、予備日として9月19日を予定していますので、各委員及び説明者の出席をよろしくお願いいたします。

また、資料要求は、配付されています資料要求書により、8月30日木曜日午後1時までに事務局へ提出してください。資料の要求に当たっては、関係資料等の内容を十分に精査され、必要最小限の要求としてください。

また、決算考査日は、本日の議会関係会議終了後及び8月30日の午前10時からと9月13日の午前10時からとなっています。

以上で説明を終わります。

○議長(橋本 健議員) 説明は終わりました。

自席へどうぞ。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第19から日程第24まで一括上程

○議長（橋本 健議員） お諮りします。

日程第19、報告第4号「平成29年度太宰府市健全化判断比率の報告について」から日程第24、報告第9号「公益財団法人太宰府市文化スポーツ振興財団の経営状況報告について」までを一括議題にしたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（橋本 健議員） 異議なしと認め、お諮りしたとおり一括議題とします。

報告を求めます。

市長。

〔市長 楠田大蔵 登壇〕

○市長（楠田大蔵） 報告第4号から報告第9号までを一括してご説明申し上げます。

最初に、報告第4号「平成29年度太宰府市健全化判断比率の報告について」ご説明申し上げます。

本市の平成29年度健全化判断比率は、前年度に引き続き一般会計等の実質収支が黒字であるため、実質赤字比率の表示はなく、公営事業会計も含めた実質収支の合計でも黒字であるため、連結実質赤字比率についても表示されません。

また、実質公債費比率は、前年度と比較しますと0.3ポイント上がり0.5%となりました。将来負担比率につきましては、前年度に引き続き算定上マイナスになるため、比率の表示がありません。

したがって、太宰府市の財政状況は全て早期健全化基準及び財政再生基準以下であるため、健全化法に基づく財政健全化計画及び財政再生計画の策定は不要であります。

以上、簡単でございますが、太宰府市健全化判断比率の報告といたします。

次に、報告第5号「平成29年度太宰府市水道事業会計資金不足比率の報告について」ご説明申し上げます。

本年度におきましても健全経営が維持されており、資金不足は発生しておりませんので、公表の際はバー表示となります。

以上、簡単でございますが、太宰府市水道事業会計資金不足比率のご報告といたします。

次に、報告第6号「平成29年度太宰府市下水道事業会計資金不足比率の報告について」ご説明申し上げます。

下水道事業におきましても、水道事業と同様に資金不足は発生しておりませんので、公表の際はバー表示となります。

以上、簡単でございますが、太宰府市下水道事業会計資金不足比率のご報告といたします。

次に、報告第7号「太宰府市土地開発公社の経営状況報告について」ご説明申し上げます。

地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき、太宰府市土地開発公社の平成29年度の事業及び決算並びに平成30年度の事業計画及び予算について報告するものでございます。

まず、平成29年度の事業及び決算について報告いたします。

公有地取得事業につきましては、政庁前駐車場整備事業用地196㎡を取得しております。また、公有地の処分については、事業の執行はございません。

決算につきましては、収益的収入1万2,235円に対しまして収益的支出は240万5,290円となり、差し引き239万3,055円の当期純損失を生じております。

資本的収支については、収入額0円に対して、支出額は政庁前駐車場整備事業に伴う用地取得費1,824万7,000円となっており、不足額に対しましては損益勘定留保資金で補填を行っております。

次に、平成30年度の事業計画及び予算についてであります。公有地取得事業では、現在のところ具体的に公社による取得を依頼されているものはございません。また、公有地の処分につきましては、平成29年度取得した政庁前駐車場整備事業用地の処分を計画し、既に実施しております。

以上、簡単でございますが、太宰府市土地開発公社の経営状況をご報告いたします。

次に、報告第8号「公益財団法人太宰府市国際交流協会の経営状況報告について」ご説明申し上げます。

太宰府市国際交流協会では、市民一人一人が個性、多様性を認め合いながら、国際的な相互理解を深める多文化共生社会の実現を図ることを目的に、公益認定を受けております国際交流促進事業、外国人学生支援事業、在住外国人支援事業の3つを柱として事業を展開しております。

まず、平成29年度の事業及び決算につきましてご報告いたします。

平成29年度に実施いたしました事業でございますが、市民の国際交流を促進するための事業といたしまして、協会の総会を兼ねた市民と外国人との交流を図るためのフレンズベル倶楽部メンバーのつどい、世界文化体験講座のベトナム料理教室、外国人学生の出身国紹介を交えた国際理解講座、事業報告パネル展等の広報活動、市内小学校などの国際理解教育への支援、国際交流団体が実施する事業への助成や名義後援などを実施いたしました。

また、外国人学生や在住外国人の支援事業といたしまして、協会設立25周年記念事業として、一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成金を活用し、外国人学生と市民との交流を目的に日本文化体験講座、冬の大運動会を開催したほか、外国人学生の就活を応援するための留学生フォーラムの開催、日本語教室の開催、生活情報ガイドブックのベトナム語版作成準備のための翻訳作業を行いました。

平成29年度の決算でございますが、収益につきましては、太宰府市からの補助金、賛助会員からの会費など合わせまして806万5,269円となっております。費用につきましては、事業費支出で573万4,408円、管理費支出259万3,074円、合わせまして832万7,482円となっております。

次に、平成30年度の事業計画と収支予算でございます。

本年度の事業につきましては、これまで実施いたしました事業をさらに充実させ、市民と外国人との交流を初めとする国際理解が深まる事業や、外国人学生や在住外国人の支援事業を積

極的に展開していく予定です。

平成30年度の収支予算につきましては、収益として、市からの補助金等を合わせまして606万円を見込み、費用といたしましては、事業費、管理費合わせまして618万円とし、当期経常増減額をマイナス12万円と見込んでおります。

以上、簡単でございますが、公益財団法人太宰府市国際交流協会の経営状況をご報告いたします。

次に、報告第9号「公益財団法人太宰府市文化スポーツ振興財団の経営状況報告について」ご説明を申し上げます。

まず、平成29年度の事業と決算についてご報告いたします。

主な事業といたしましては、いきいき情報センターを初め9つの施設の管理運営と、文化スポーツ振興に関する事業を行い、各種講座、イベント、展示事業など275事業を開催いたしまして、団体及び人材などの情報収集と広範な情報提供を行ったところでございます。

この結果、財団が管理運営している施設におきましては53万1,000人の方にご利用をいただきました。今後も多様化する市民ニーズに応えますために、サービスの向上を図るとともに、市民が安全で安心して使用できる施設の管理運営に全力を傾注してまいります。

決算につきましては、主な収益として指定管理料収益、自主事業収益、施設利用料収益、市補助金などを合わせまして、当期経常収益計2億9,712万5,325円となっております。経常費用につきましては、財団が管理運営する各施設の事業費、管理費を合わせまして、合計3億159万139円となり、当期経常増減額はマイナス446万4,814円となっております。

これに一般正味財産期首残高を合わせますと、基本財産を除き、一般正味財産期末残高は8,406万5,127円となっております。

次に、平成30年度の事業計画と予算についてでございます。

公益財団法人に移行し6年目に当たり、事業につきましては生涯学習支援事業や展示事業、また健康増進を図るスポーツ振興事業、イベントなどをいきいき情報センター、文化ふれあい館、男女共同参画推進センタールミナス、市民図書館の文化施設並びに体育センター、歴史スポーツ公園の社会体育施設におきまして、合計307の事業を計画しております。

次に、予算につきましては、7施設の指定管理料収益と自主事業収益、施設利用収益などを合わせまして収支予算として経常収益3億303万円、経常費用計が3億2,591万4,000円で、当期経常増減額はマイナス2,288万4,000円となります。

一般正味財産期首残高は、基本財産を除き6,520万1,441円を見込んでおり、それを加えますと、一般正味財産期末残高は4,231万7,441円となります。

以上、簡単でございますが、公益財団法人太宰府市文化スポーツ振興財団の経営状況をご報告いたします。

○議長（橋本 健議員） 報告は終わりました。

これから質疑を行います。

報告第4号について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(橋本 健議員) 次に、報告第5号について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(橋本 健議員) 次に、報告第6号について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(橋本 健議員) 次に、報告第7号について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(橋本 健議員) 次に、報告第8号について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(橋本 健議員) 次に、報告第9号について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(橋本 健議員) これで質疑を終結し、報告を終わります。

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長(橋本 健議員) 以上で本日の議事日程は全て終了いたしました。

次の本会議は、8月31日午前10時から再開をいたします。

本日はこれもちまして散会をいたします。

散会 午前10時49分

~~~~~ ○ ~~~~~